

送信先 報道各位
送信枚数 本紙を含めて 2枚
送信日 2025年3月31日



公益財団法人日本モンキーセンター 新所長に 湯本 貴和 氏 が就任します

平素は当財団の事業につきまして、格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
このたび、2025年4月1日より、公益財団法人日本モンキーセンター 新所長(第10代所長)に湯本 貴和(ゆもと・たかかず) 氏 が就任しますのでお知らせします。

湯本新所長は、植物学や生態学の専門家でありながら、京都大学霊長類研究所(愛知県犬山市;2022年3月31日に京都大学における組織改編のため活動を終了)の所長などを歴任し、霊長類学を含めた幅広い自然科学の分野で活躍してきました。これまでの知識や経験を活かし、当財団やこれからの霊長類学の発展に貢献していかれることと期待されます。多くの方に知っていただきたく、ぜひ貴社でご紹介ください。

◆ 新所長 湯本 貴和 プロフィール

1959年、徳島県生まれ。元京都大学霊長類研究所教授・所長。
日本フードスタディーズカレッジ学長・京都芸術大学客員教授。京都大学大学院理学研究科博士後期課程植物学専攻修了。理学博士。京都大学生態学研究センター助教授、総合地球環境学研究所教授を経て、2012年度より京都大学霊長類研究所教授、2016～2021年度同所長。2023年から、きょうと生物多様性センター長。2023年設立の全国トキノキ学ネットワーク共同代表。
2025年4月より公益財団法人日本モンキーセンター所長に就任。



◆ 所長就任特別講演会を開催！

湯本新所長の就任を記念して、日本モンキーセンター友の会の会員(会員数:約1100名)を対象としたイベント「第21回 友の会のつどい」にて特別講演会を開催します。
世界中の森(とくに熱帯雨林)を研究フィールドとしてきた経験から、自然の美しさやそこで出会った数々の霊長類との思い出を語ります。

「第21回 友の会のつどい」概要

日時: 2025年4月6日(日) 10:30～(10:15開場)
場所: 日本モンキーセンター内 ビジターセンター・ホール (愛知県犬山市犬山官林26)
次第: 10:15 開場
10:30 特別講演「世界の森と霊長類を訪ねて」 湯本 貴和
11:30 活動報告
12:00 午前の部 終了

※報道関係者の方は10:30～11:30の特別講演の時間に限り、講演会場に入場いただけます。
※午前の部の終了後、個別の取材等を受け付けます。
※同日午後は当園の「猿JOY!感謝祭」の2日目として、さまざまなイベントを開催予定です。

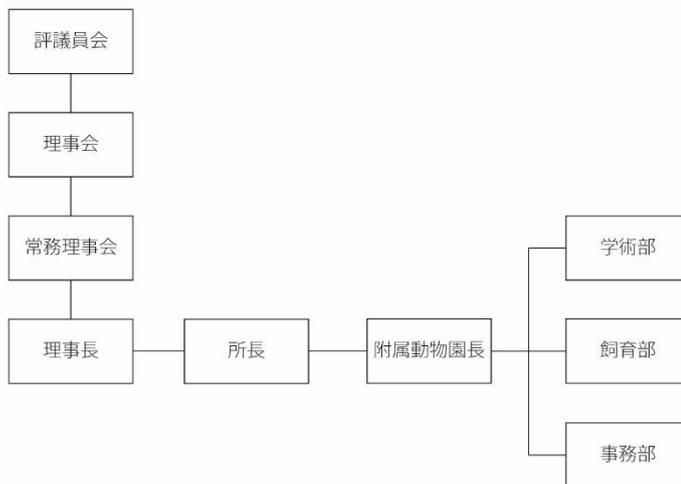
◆ 湯本新所長よりコメント

このたび(公財)日本モンキーセンター所長に就任する湯本貴和です。専門は生態学で、40年以上にわたって屋久島やボルネオ島をはじめとして、コンゴやガボン、コロンビアやブラジルなどの熱帯林で、霊長類を含むさまざまな動物と植物の相互関係の研究をやってきました。歴史ある(公財)日本モンキーセンターでは「動物園は自然への窓」という考え方に則って、これまでも増して、来訪して下さる皆様方には本来の生息地での霊長類の姿が感じていただけるとともに、飼育されている霊長類たちの健康や福祉に配慮した展示になるように取り組んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

◆ 公益財団法人日本モンキーセンター 所長について

日本モンキーセンターは、サル類の総合的研究、野生ニホンザルの保護などを目的に、1956年(昭和31年)に文部科学省所管の財団法人として設立されました。1964年、初代所長に宮地伝三郎(京都大学名誉教授)が就任し(それまでは日本の霊長類学の創始者である今西錦司博士が所長代行)、以後、京都大学を中心とした霊長類学者が所長を務めてきました。2014年4月に財団法人から内閣府所管の公益財団法人へ移行し、直近では2020年度から京都大学野生動物研究センター特任教授の伊谷原一を所長として運営してまいりました(伊谷は2025年度より理事長)。今回の就任により、湯本新所長が第10代所長(公益法人化後の第3代所長)となります。

【参考】公益財団法人日本モンキーセンター 組織図(2025年度からの新体制)



※新執行部(2025年4月～)

理事長: 伊谷 原一 (元 京都大学野生動物研究センター 特任教授)

所長: 湯本 貴和 (新任)

附属動物園長: 下村 実 (2024年度就任)

日本モンキーセンター

<https://www.j-monkey.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人日本モンキーセンター 〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26

TEL: 0568-61-2327 FAX: 0568-62-6823 メール: info@j-monkey.jp

問い合わせ・取材申し込み担当: 綿貫、林、今井